

(26)

⑬日本国特許庁

⑤日本分類

80 A 02
94 A 7

⑭公開実用新案公報

⑮実開昭47-814

厅内整理番号 6477-36
6824-54

⑯公開 昭47(1972). 8. 8

審査請求 有

⑦電動患者運搬車

⑧実 願 昭46-1639

⑨出 願 昭46(1971)1月21日

⑩考案者 飯田孝平

立川市砂川町703西けやき台団
地3-204

⑪出願人 武藏野赤十字病院

武藏野市境南町1の26の1

同 富士自動車株式会社

東大和市大字芋窪142の1

代理人 弁理士 小橋一男

実用新案登録請求の範囲

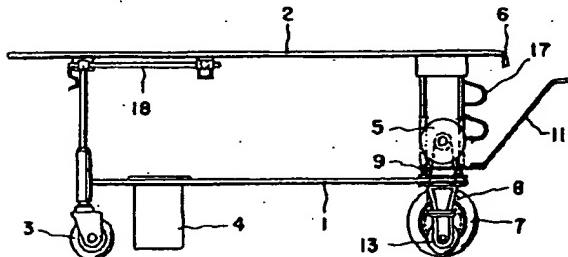
フレーム1上にベッド2を載設し、ベッド2の側面に回動及び伸縮自在な点滴器取付装置18を附設するとともに、フレーム1の前端にキヤスター前輪3を設け、後端中央に方向転換自在なハンドル11付の後輪7と、該後輪7の両側にわずか

に床面より離れている補助輪13とを設け、前記後輪7上のフレーム1には~~後輪駆動用~~モーター5を載設し、該モーター5と後輪7との伝動系路中にクラッチ12を介設して動力の断続を自由とし、更にフレーム1の後端には酸素ボンベ等の固定支持枠17を取付けてなる電動患者運搬車。

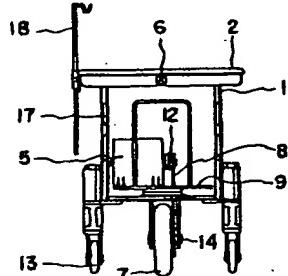
図面の簡単な説明

図面は本考案の1例を示すもので、第1図～第3図はそれぞれ患者運搬車の側面図、背面図、平面図を示し、第4図は運搬車の動力用制御回路図である。図中1はフレーム、2はベッド、3はキヤスター前輪、4はバッテリー、5はモーター、6はスピードコントローラーSC、7は後輪、8はチェーン又はベルト、9は動力ユニット本体、10はスラストベアリング、11はハンドル、12はクラッチMC、13は補助輪、14はシヤフト、15はストップスイッチSS、16はリレー、17は酸素ボンベ支持枠、18は点滴器取付装置をそれぞれ示すものである。

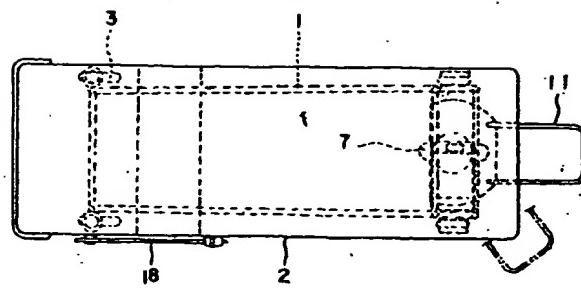
第1図



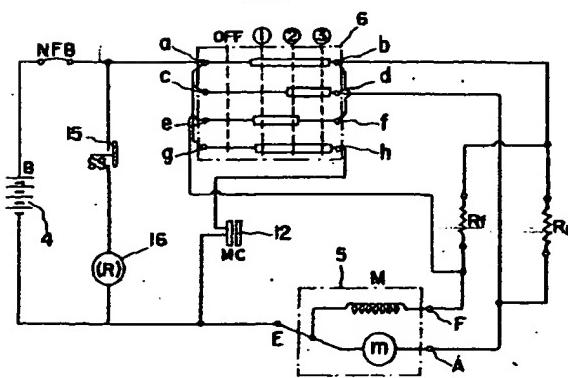
第2図



第3図



第4図



(27)

②日本分類
94 A 71

①日本国特許庁
②公開実用新案公報

③実開昭47-17495

厅内整理番号 6824-54

④公開 昭47(1972).10.28

審査請求 無

⑤電動式ストレッチャー

⑥実 願 昭46-21993
⑦出 願 昭46(1971)3月26日
⑧考 案 者 横本正男
東京都文京区本郷3の30の4
⑨出 願 人 瑞穂医科工業株式会社
東京都文京区本郷3の29の10
代理 人 弁理士 千ヶ崎宣男

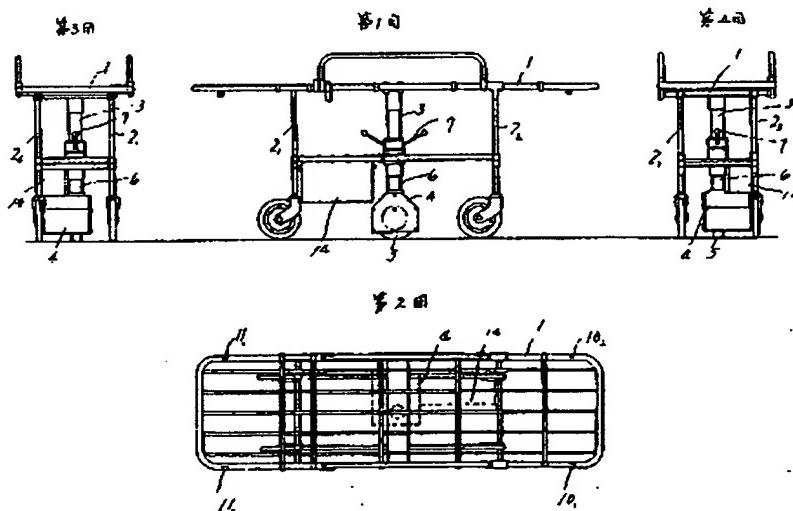
実用新案登録請求の範囲

患者を載せる台枠下面に移動用車輪付の4本の支柱を有するストレッチャーにおいて、台枠下面の中央に垂直軸管を取り付け、該垂直軸管には電動駆動車輪の保持箱の支柱管を嵌合させ、該支柱管にはハンドルを取り付けて、電動駆動車輪の進行方向を前後方向と左右の横方向に変更させるハンドル、9は電動クラッチ、10₁、10₂、11₁、11₂は台枠の両側面部に配設されて、電動機を正又は逆に回転させる押ボタンスイッチである。

すと共に、その9が回動した位置に固定できるよう、支柱管と垂直軸管間にストップバーを設けかつ台枠の前後の両側面部には車輪駆動電動機の正板及び逆転用スイッチを配設してなる電動式ストレッチャー。

図面の簡単な説明

第1図は本考案による電動式ストレッチャーの側面図、第2図は平面図、第3図は第1図の左側面図、第4図は右側面図、第5図は電動駆動車輪部の詳細図、第6図は駆動電動機の電気回路図を示す。図中1はストレッチャーの台枠、4は台枠の中央下面部に取付けられた電動駆動車輪部の保持箱、7は電動駆動車輪の進行方向を前後方向と左右の横方向に変更させるハンドル、9は電動クラッチ、10₁、10₂、11₁、11₂は台枠の両側面部に配設されて、電動機を正又は逆に回転させる押ボタンスイッチである。



THIS PAGE BLANK (USPTO)